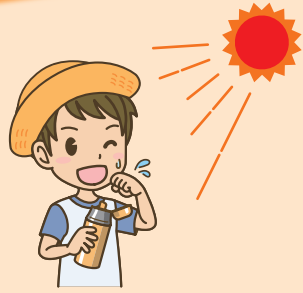


私たちにもできる「適応」

熱中症を予防しよう！



熱中症予防情報サイト

暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは帽子をかぶったりして、熱中症を予防しましょう。また、熱中症は室内でも多く発生しています。夜間も注意が必要です。特に高齢者は体内の水分が不足しがちであるため、注意が必要です。

気象災害にそなえよう！



鹿児島県防災 WEB



国土交通省ハザードマップポータルサイト

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害に備えるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。

水を大切に使う！

節水



温暖化によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもなります。

虫刺されに気をつけよう！



気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった虫が、北上する可能性があります。例えばデング熱という病気を広める蚊の住める地域が北に広がっていますので注意しましょう。

気候変動の影響や適応に関する情報発信

気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>



鹿児島県気候変動適応センター (鹿児島県環境保健センター内)

<https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/ondanka/tekiou-center/index.html>



鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター (一般財団法人鹿児島県環境技術協会)

<https://www.kagoshima-env.or.jp/kccca/>



鹿児島県環境林務部 環境林務課 地球温暖化対策室

TEL 099-286-2586

<https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/ondanka/index.html>

1270

古紙配合率70%再生紙を使用しています

環境に優しい
植物性油インク使用

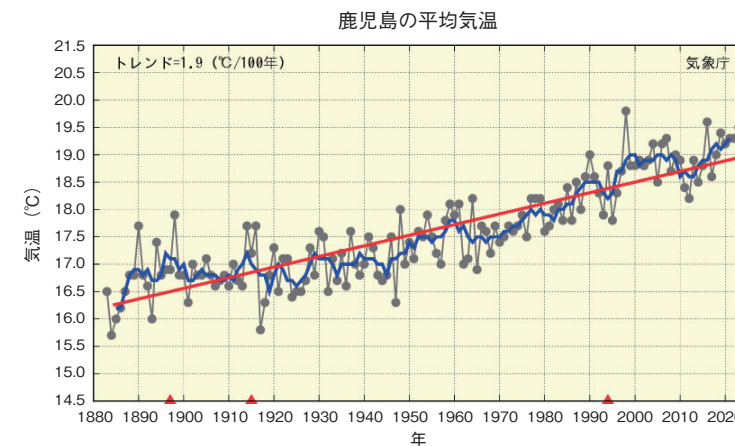
気候変動の影響に「適応」しよう

気候変動の影響は鹿児島県でも現れています

気温の上昇

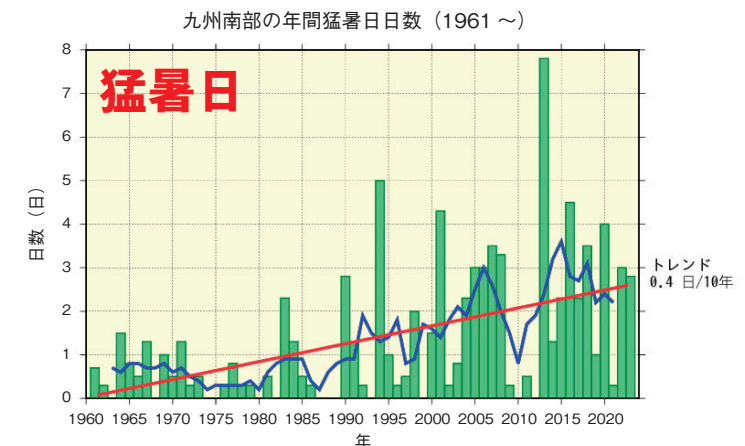
鹿児島の年平均気温は、100年あたり

1.9℃上昇しています



鹿児島県を含む九州南部の猛暑日は

10年あたり0.4日増加



出典:福岡管区気象台

気候変動適応って何？

緩和とは？

原因を少なく

2つの
気候変動対策

適応とは？

影響に備える



『適応』とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、一人ひとりの生活のあり方を変えることなどを言います。

気候変動によって、以前よりも今の方が暑くなり、近年短時間で降る大雨が増加しています。こうした気候の変化は、私たちの食べ物や健康などにも様々な「影響」を与え、しかも、その「影響」が今後、さらにひどくなっていくかもしれないのです。その答えのひとつが、気候変動の影響への「適応」です。

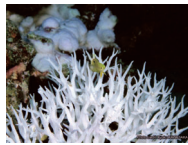
出典:気候変動適応情報プラットフォーム

「適応策」の取組はすでに始まっています！「適応」に取り組みましょう！

実は、「適応」は身の回りでも既に取り組まれています。行政（国や地方自治体）が行うものもあれば、企業や個人が行えるものもあります。私たち一人ひとりが「適応」について、理解を深め、行動していくことは、未来の世代のためにも重要です。

サンゴ礁

影響：サンゴの白化、生育や分布の変化、オニヒトデの大量発生による被害。
適応：モニタリング調査、保全の普及・啓発、オニヒトデの駆除。



白化したサンゴ

画像：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

在来種

影響：絶滅危惧種の生息生育環境の悪化。
適応：種の生息生育状況の把握、保護監視活動。



アカウミガメ
(県環境技術協会提供)

外来種

影響：本来生息しない南方系の動植物の確認、分布域の拡大、北上。
適応：早期発見・早期防除、侵入状況や被害の発生状況の把握。



セアカゴケグモ
(環境省提供)

ブナ林

影響：南限である高隈山系で、温度上昇によるブナの成長低下が報告。
適応：分布適域の変化など、気候変動の影響等に関する情報収集。

果樹

影響：日焼け、着色遅延、浮皮が発生。
適応：温暖化に対応した栽培技術の活用、暑さに強い品種の活用。



ブドウの高温による着色障害 ウンシュウミカンの日焼け果

画像：鹿児島県農業開発総合センター

農業生産基盤

影響：異常な降雨等による農地や農業用施設の被害。
適応：排水路等の整備。

高潮・高波

影響：平均海面の上昇の顕在化。
適応：海岸保全施設の新設・改良。

洪水・内水

影響：時間降水量 50 mm を超える短時間強雨や大雨により県内各地で毎年のように甚大な水害が発生。
適応：治水能力の向上。洪水・内水に係る浸水想定区域の指定、ハザードマップの作成。「流域治水」の取組推進。

水道インフラ

影響：豪雨や台風により被災するなどの影響が生じる状況を確認。
適応：浸水災害対策や、水道施設の耐災害性強化に向けた施設整備。

電力インフラ

影響：大雨・雷・台風・浸水等による電力インフラの寸断や異常気象による発電施設の稼働停止等を確認。
適応：蓄電池等を活用した地産地消型再生可能エネルギーの導入促進。

水稻

影響：白未熟粒（背白粒・基白粒）等の発生。
適応：暑さに強い品種の活用。



コメの白未熟粒（背白粒）
画像：鹿児島県農業開発総合センター

茶

影響：一番茶の萌芽や摘採時期が早まる。
適応：温暖化に対応した整枝・せん枝技術の開発・普及。

熱中症

影響：熱中症による人口当たりの救急搬送人員数は全国平均を上回る状況（高齢者の割合が大）。
適応：熱中症予防の普及・啓発。

畜産

影響：乳用牛の乳量・乳成分・繁殖成績の低下、肉用牛等の増体率の低下、採卵鶏の産卵率や卵重の低下。
適応：大型ファンや細霧装置の導入、温度等を制御する換気システムの導入。

野菜類

影響：発芽不良や生理障害等の発生。
適応：温暖化に対応した栽培技術の活用、暑さに強い品種の活用。



画像：鹿児島県農業開発総合センター トマトの裂果

本県における気候変動の影響とその適応策について、詳しくは鹿児島県地球温暖化対策実行計画の別冊2としてまとめています。



※画像（コメの白未熟粒、ブドウの高温による着色障害、ウンシュウミカンの日焼け果）：県農業開発総合センター

※画像（トマトの裂果）：農林水産省「地球温暖化調査レポート」

※画像（白化したサンゴ）：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

※一部のイラストは、気候変動適応情報プラットフォームで公開されている素材を使用しています。